

宣言！
祈ろう そして 復活を誓おう

医療法人東西会
「世界に向けてのメッセージ」

SHOW THE FLAG!!
未来からの明かりを照らす！

人生100年時代の道しるべ

第49回

～いつまでも健康で暮らすために～

SHOW THE FLAG!!

最近「量子もつれ」という言葉を知りました。

私自身、専門分野でもないので熟知しておりませんし、そもそも量子力学という世界があまりにも難解であるのでうまく説明できるか不安ですが…。

まず「量子」についてですが、原子よりもさらに小さい、これ以上分解できない粒子（これを「素粒子」と呼ぶそうです）の世界の中で、「波」と「粒子」の両方の性質をあわせもつものを全部まとめて「量子」といいます。

この性質について当時の学者たちの間では「波」なのか「粒子」なのか激論が交わされました。そして導きだした結論は「粒子」であると同時に「波」の性質もあわせもつというものでした。私たちの普通の生活ではとうてい受け入れがたい不思議なのですが、目に見えないときは「波」であり、人間が観測した途端に目に見える「粒子」になるということです。他にもこの「量子」という極小世界は分身の術のようにひとつの量子が違う場所に同時に存在したり、テレパシーのようにはるか遠くに一瞬のうちに情報を伝達できたりします。この性質を「量子もつれ」といいます。

また、量子の特徴である分身が、おおよそどこに現れるか、その確率を予測する数式を「波動方程式」といいます。

あの世界的に有名な理論物理学者アインシュタインは確率というあやふやな理論を「どんな条件であれ、私には確信がある。神は絶対にサイコロを振らない。」と痛烈に批判しました。アインシュタインは宇宙の全ての現象には原因があって、結果があり、その過程も明確なはずであると信じていました。そして宇宙の果てと果てを舞台にした実験で、量子のテレパシーという性質と「波動方程式」の矛盾を指摘しました。さらにこの量子もつれの現象（テレパシー）を「不気味な遠隔作用」とよび、最期まで懐疑的でした。

かなり長文になりましたが、私の独学での知見であり、量子力学という非常に難解な学問ですので、間違いなどあれば申し訳ございません。

ここから、このアインシュタインが提示した矛盾「量子もつれ」の謎に対し、紆余曲折ありますが端的に書きますと、

ある学者が「波動方程式」を数学的に証明し不可思議なテレパシーを説明したかに見えましたが、他の学者から「机上の空論」と猛烈に批判され、その学者は不遇のまま生涯を終えることとなります。以後、量子もつれの謎に手を出す研究者として生きていけなくなるといふ風潮になり、学者たちは長い間この謎に距離を置くようになります。ただ、この「机上の空論」とされた理論は見直され、あらたな証明によってもう一度興味を持たれはじめます。アインシュタインの提唱からおおよそ50年。ようやく学者たちは本気で検証すべき問題として取り組みだしました。

そして、2018年の実験結果として、量子もつれが存在する確率は100%に限りなく近いと結論がでました。こうして約80年に及ぶ「量子もつれ」という「空論」が「正論」になり、いわば「机上の空論」が「机上の正論」になった瞬間でした。



私が考える
6つの喫緊の
課題

- ① 不況
- ② 災害
- ③ 戦争・テロ
- ④ 感染症（COVID-19、インフルエンザなど）
- ⑤ 地球温暖化・沸騰化
- ⑥ 財政（健全化・規律）

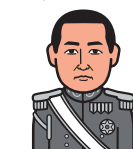
これらの課題は常につきまっています。しかし、こういった課題を解決していくことが新たな成長の可能性を秘めているのではないのでしょうか。わたしはこの成長を異成長と呼んでいます。

これは私の持論ではありますが、混沌とした時代を散逸構造とみなして考えてみますと、混沌＝「ゆらぎ」が散逸しているようにみえますが、この「ゆらぎ」から、あたかも第六感にも似た「直感、ひらめき」によって、新たな秩序形成という自己組織化での「進化、イノベーション」が起こり、今までとは違った成長（＝異成長と呼んでいます）をすることで幸せな明るい時代が訪れるのではないのでしょうか。

「改革」する能力を得て「実践」することで新たな道筋への発見と自信につながり、いかなる困難をも打ち砕くのだと私は信じています。そして、これこそが私なりの「倫理資本主義」の「実践」なのです。

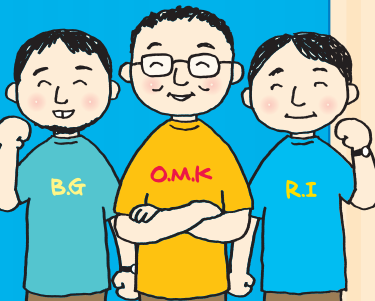
近年さまざまなコメンテーターや学者が持論を展開していますが、「実践」がなければ、ただの「机上の空論」や「机上の正論」で、いわば「絵に描いた餅」なのだとは感じています。

「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。」
これは山本 五十六（やまもと いそろく、日本の海軍軍人。最終階級は元帥海軍大将）の言葉ですが、私には山本五十六も「実践」の大切さを言っているように聞こえるのです。



～「人生の設計図、人生の羅針盤」～

リーダーのいない末法の時代、明るく幸せで夢のある未来の構築には、いわゆる他人任せでは駄目だと悟りました。混沌とした時代を癒やすプロジェクトチームの思いは「愛と叡智を矜持とす」です。仲間をつくり協力しながら社会に貢献し、おのれの人生、もちろん私自身の人生（＝解放区と私は呼んでおります）を充実した満足のいくものにしたいと思っています。時代の転換期である2025年。新たな視座は愛（Love）と正義（Justice）です。私たちは、つながって共に創る幸せな未来に向け挑戦するため立ち上がりました。それこそまさに我々のチーム「令和プロジェクトF（フューチャー）」なのです。



〈プロジェクトフューチャーメンバー〉
O.M.K(天才) - TA(チーピングアシスタント)
B.G(純才) - OA(オフィスアシスタント)
R.I(秀才) - RA(リサーチアシスタント)

無料動画共有サイトに
右の動画を公開中！
ぜひ、ご覧ください。



令和の時代
コロナ・災害・不況の嵐だ！



生きる証もない暗黒時代



しかし、朝の来ない夜はない！



今、私たちは立ち上がった！
どないかせんといけん



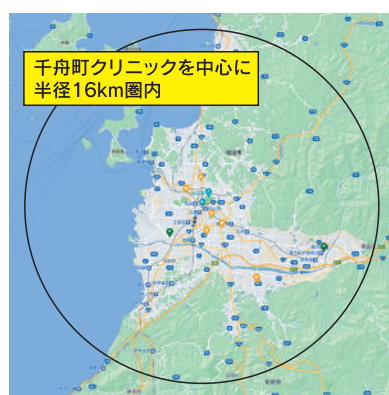
令和 プロジェクトフューチャー！
プライドをかけて発信す



私たちは社会保障領域のブランド
医療法人東西会グループです！

お医者さんが来てくれる！

365日・24時間体制で対応
(松山市全域)



医療法人 東西会グループ
外来診療 (かかりつけ医) **内科** 要予約
内科・外科・麻酔科・ペインクリニック内科
(医師/薬師 歩)

私たちは、質の高い
在宅医療・看護・介護 を目指しています。

在宅医療の範囲は、医療機関と患者様の所在地が半径16km以内と
されています。
※特段の理由や事情がある場合は、この限りではありません。



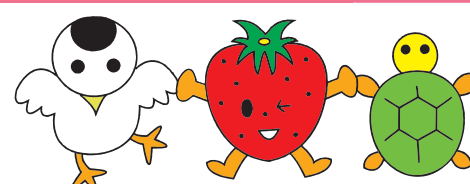
医師数 **23名**
(令和7年9月現在)

**末期がん治療
(緩和ケア)
相談室開設！**

安全・安心・健康塾

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。
(5分間ルール)
現場の人達を救命救急士として教育する
「安全・安心・健康塾」の出張講義を
ボランティアで行っております。



(医)東西会イメージキャラクター
「イチゴ・ツル・カメ」
三世代の『絆』を表すキャラクターです。
イチゴはこどもたち、ツルはお父さん・お母さん、
カメはおじいちゃん・おばあちゃんを表しています。

全人的な痛み
(Total Pain)
① 肉体的な痛み
(physical pain)
② 心理的な痛み
(psychological pain)
③ 社会的な痛み
(social pain)
④ 文化的な痛み
(cultural pain)
⑤ スピリチュアル(霊・魂)な痛み
(spiritual pain)

参照/介護支援専門員基本テキスト

東京大学医学部臨床研究協力機関 愛媛大学医学部臨床研究協力機関
大阪医科大学(研修医・医学生)在宅医療研修・研究協力機関 関西医科大学との在宅医療研修・研究協力機関

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所 **(医)東西会 千舟町クリニック**

松山市千舟町6-4-9 ☎089-933-3788
<http://www.touzaikai.jp/>